

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】 特開 2005-142688 (P2005-142688A)
 【公開日】 平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-021
 【出願番号】 特願 2003-375065 (P2003-375065)
 【国際特許分類】

H O 4 N 5/225 (2006.01)

H O 4 N 5/232 (2006.01)

H O 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H O 4 N 5/225 B

H O 4 N 5/232 Z

H O 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 10 月 31 日 (2006.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定のアスペクト比を備える表示手段と、
 デジタル放送を受信する受信手段と、
 この受信手段によって受信された映像を前記表示手段に全画面表示させる第 1 の表示制御手段と、
 撮像手段と、
 この撮像手段によって撮像された画像を撮像サイズに対応するアスペクト比で前記表示手段に表示させる第 2 の表示制御手段と
 を備えたことを特徴とする 電子機器。

【請求項 2】

前記撮像手段が有するレンズを開閉自在に覆うレンズバリアの開閉状態を検出する検出手段と、
 この検出手段による検出結果に基づき、前記受信手段と前記撮影手段との動作を切り替える動作切替手段と
 を更に備えたことを特徴とする請求項 1 記載の 電子機器。

【請求項 3】

特定のアスペクト比を備えた表示部と、デジタル放送を受信する受信部と、撮像部とを備える携帯型電子機器における画像表示制御方法であって、
前記受信部にて受信された映像を前記表示手段に全画面表示させる第 1 の表示制御ステップと、
前記撮像部にて撮像された画像を撮像サイズに対応するアスペクト比で前記表示部に表示させる第 2 の表示制御ステップと
からなることを特徴とする画像表示制御方法。

【請求項 4】

特定のアスペクト比を備えた表示部と、デジタル放送を受信する受信部と、撮像部とを

備えるコンピュータを、

前記受信部によって受信された映像を前記表示部に全画面表示させる第1の表示制御手段、

前記撮像部によって撮像された画像を撮像サイズに対応するアスペクト比で前記表示部に表示させる第2の表示制御手段

として機能させることを特徴とする画像表示制御プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子機器、画像表示制御方法、及び、画像表示制御プログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、例えば16:9のアスペクト比で構成された映像を表示する表示デバイスを備えた電子機器、画像表示制御方法及び画像表示制御プログラムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明はこのような問題点に鑑みてなされたものであり、通常のアスペクト比からなる画像を撮像する機能を有しながらも、16:9のアスペクト比で映像を表示することが可能な電子機器、画像表示制御方法及び画像表示制御プログラムを提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

前記課題を解決するため請求項1記載の発明にあっては、特定のアスペクト比を備える表示手段と、デジタル放送を受信する受信手段と、この受信手段によって受信された映像を前記表示手段に全画面表示させる第1の表示制御手段と、撮像手段と、この撮像手段によって撮像された画像を撮像サイズに対応するアスペクト比で前記表示手段に表示させる第2の表示制御手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、請求項2記載の発明は、請求項1において、前記撮像手段が有するレンズを開閉自在に覆うレンズバリアの開閉状態を検出する検出手段と、この検出手段による検出結果に基づき、前記受信手段と前記撮影手段との動作を切り替える動作切替手段とを更に備え

たことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、請求項3記載の発明にあっては、特定のアスペクト比を備えた表示部と、デジタル放送を受信する受信部と、撮像部とを備える携帯型電子機器における画像表示制御方法であって、前記受信部にて受信された映像を前記表示手段に全画面表示させる第1の表示制御ステップと、前記撮像部にて撮像された画像を撮像サイズに対応するアスペクト比で前記表示部に表示させる第2の表示制御ステップとからなることを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、請求項4記載の発明に係る画像制御プログラムにあっては、特定のアスペクト比を備えた表示部と、デジタル放送を受信する受信部と、撮像部とを備えるコンピュータを、前記受信部によって受信された映像を前記表示部に全画面表示させる第1の表示制御手段、前記撮像部によって撮像された画像を撮像サイズに対応するアスペクト比で前記表示部に表示させる第2の表示制御手段として機能させることを特徴とする。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明によれば、特定のアスペクト比を備え、デジタル放送を受信した際は受信された

映像を全画面表示させ、撮像された画像は撮像サイズに対応するアスペクト比で表示させる。したがって、通常のアスペクト比からなる画像を撮像する機能を有しながらも、16：9のアスペクト比で映像を表示することが可能となる。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】